

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 3 日

評価対象事業		評価者	生涯学習課担当課長 瀬谷 公重	
教育-47	生涯学習センター推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	生涯学習課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	生涯学習環境の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進めるため
効果	「いつでも」「どこでも」「だれもが」気軽に学習できる環境の整備・充実を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習教養セミナー(7セミナー)を実施した。 生涯学習情報誌「鎌倉萌」を発行した。 生涯学習推進委員が企画・運営する各種講座・イベント等について、新型コロナウイルス感染症防止対策を行い実施した。
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	生涯学習教養セミナー等開催事務	旅費	生涯学習センター推進事業の数(セミナー数)	7 / 8		5セミナー	87.5%
				2 / 3		4	
02	生涯学習推進事業	生涯学習推進事業委託	情報誌及び講座等の実施について、年度当初予定のとおりか進行を管理確認する	73 / 80		主な指標のとおり	91.3%
				4,822 / 5,064		5,000	
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	4,824 / 5,067		5,004	
		事業費の合計(千円)		4,824 / 5,067		5,004	
		人件費(千円)			5,852	16,407	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.7	0.6	0.9			
会計年度任用職員	4.0	1.0	7.3			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	生涯学習教養セミナー等開催事務	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、当初予定していたセミナーの1本を中止し、7セミナーを実施した。	市民が学習成果を生かすことができる場を提供した。	生涯学習を支える人材の確保、高齢化に伴う跡継ぎの育成が課題。
02	生涯学習推進事業	新型コロナウイルスの感染者数が増加した時期に開催を予定していた7講座について中止した。	生涯学習推進委員会による情報誌の発行、講座等の企画・運営を担うなど、市民が主体的に生涯学習に参加した。	生涯学習を支える人材の確保、高齢化に伴う跡継ぎの育成が課題。また、社会要請に応じた多様なニーズへの対応、ICTを活用した学びを止めない工夫が求められる。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	2 外部化に向けて検討できる事業がある
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
		協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市生涯学習推進委員会

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
市民ボランティアである鎌倉市生涯学習推進委員会と協働で講座やイベントの開設、多様な学習情報を提供し、生涯学習センター事業の推進に寄与した。令和4年度、鎌倉市生涯学習センターの管理運営について指定管理者導入に併せて、民間のノウハウを活用しながら、現役・若年世代の参加の促進、社会要請に応じた多様な講座、ICTの活用など事業の拡大を進めるとともに、生涯学習を支える人材の確保・担い手の高齢化に伴う跡継ぎの育成に向けて検討する必要がある。					

【参考】

指標(単位)	生涯学習教養セミナー等開催事務						単位	回
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
セミナーの実施状況を把握することで、実績を評価する。	目標値		8	5				
	実績値	4	7					
	達成率		87.5%					

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	【生涯学習推進事業】情報誌発行について、年度当初の予定のとおりか						単位	回
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
情報誌の発行回数と講座の実施状況を把握することで、実績を評価する。	目標値		6	6				
	実績値	4	6					
	達成率		100.0%					

指標(単位)	【生涯学習推進事業】講座実施について、年度当初の予定のとおりか						単位	事業
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
情報誌の発行回数と講座の実施状況を把握することで、実績を評価する。	目標値		74					
	実績値	1.0	67					
	達成率		90.5%					

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--